

世界遺産「斎場御嶽」

～世界遺産に登録された最大の理由、それは今に続く「祈りの場」にあった～

斎場御嶽（せーふあうたき）は、琉球王国の安泰と五穀豊穰を祈る国家的な祭事が行われてきた沖縄を代表する聖地です。

遠い先人たちから守り受け継がれてきた聖地での「祈り」は、沖縄の人々の生活や精神の中に今も生き続けています。

世界遺産に登録された理由とは

2000年（H12年）に斎場御嶽がユネスコ世界遺産に登録された際の認定理由が書かれているのが以下の一文です。

「琉球地方では、各推薦資産において、自然崇拜的な信仰思想に基づく各種の宗教儀礼や祝祭が今日でも盛んに行なわれており、市民の生活や精神の中に資産が活用され、文化として生き続けている。」

ユネスコは、古来より行なわれてきた「祈り」の文化が、現在でも行なわれていることに世界遺産としての価値を認めました。

その価値とは、私たちが大自然に生かされていることへの「感謝の祈り」。

斎場御嶽が今に伝えるその精神文化は、世界中の人々が調和し、平和で豊かな未来を築くための大切なメッセージが息づいています。

斎場（せーふあ）の「斎」とは、

「斎」を国語辞典で調べると、「心身をきよめて神に仕えること。また、その人。」という意味があるようです。斎場御嶽は、元来そのような神聖な場所です。重要な儀式の度に、神の島（久高島）からわざわざ砂が運び込まれ、敷き詰められるほどの徹底ぶりでした。

ですから、来訪の際は、日頃のストレスから開放されてリゾート気分を満喫している旅の途中であっても、それ相応の心構え（準備）が必要でしょう。

御嶽（うたき）とは、

「御嶽」は、沖縄の聖なる空間であり、祈りの場。斎場御嶽は、琉球の創世神話に登場する沖縄の七御嶽のなかでも、最も格の高い聖地とされています。琉球王国時代は男子禁制の場で、国王が巡幸の際は、神女が一度神に伺いを立ててから、聖域内に入ったと伝えられています。

樹々が青々と茂る静かな空間、時折吹き抜ける清々しい風、緑の葉っぱの隙間から差し込む日光は心地よく、訪れる誰もがこの場所が聖地であることを体感できます。

～ここは「祈りの場」。心を静め「聖地」へ訪れる前に…～

齋場御嶽を訪れる方の心構え

1. 入場券売場から齋場御嶽入口までの移動時間を含め 1 時間～1 時間 30 分を要します。心と時間にゆとりをもつことで、より聖地を体感できます。
2. 肌の露出の激しい服装は控え聖地に相応しい身支度で訪れましょう。
3. 参道の保全からハイヒール等は控え、歩きやすい履物でお願いします。
4. 御嶽から動植物はもちろん石やモノを持ち出さないようにしましょう。
5. 入場の前にマナービデオ（約 3 分間）を視聴いただきます。
6. 三庫理（サングーイ）など 6 カ所のイビ（神域＝拝所）を背景にした人物撮影は、神域へお尻を向けることとなります。できるだけご遠慮ください。
7. 祈りを捧げている方への声かけはご遠慮下さい。
8. 参道の入口に御門口（うじょうぐち）があります。地元の方はここで 一礼（あいさつと自己紹介）をおこなっています。
※御嶽内は本殿、御門口は拝殿の関係にあり、かつて一般の方はこの先には入れませんでした。
9. 御嶽内 6 カ所に香炉(四方形の彫石)があります。神聖な石ですので手を触れたり、動かすことはご遠慮ください。



香炉（6カ所の拝所にあります）

斎場御嶽への交通アクセス・施設情報

車（レンタカー）で

那覇空港から約 50 分。沖縄自動車道南風原北 IC から約 25 分

※国道 331 号を南下、豊見城・名嘉地 IC から豊見城東道路に入り(南風原南 IC で降りる)、
県道 82 号～県道 86 号～国道 331 号へと進む。

途中、垣花交差点を左折し国道 331 号との合流点、吉富交差点まで続く 1 キロほどの曲がりくねった橋は沖縄屈指のビューポイント「ニライカナイ橋」である。

吉富交差点を左折すると 800 メートルほどで斎場御嶽（駐車場）がある。空港から約 30 キロ、50 分のドライブ。

路線バスで

- ・那覇バスターミナルより東陽バス志喜屋線 38 番にて斎場御嶽前バス停下車。（約 90 分）

タクシーで

- ・那覇空港のタクシー乗り場（遠距離）から乗車いただき約 50 分。
- ・乗車料金は、交通事情や経路によって異なりますが、約 5,000 円前後となります。

周辺の観光ポイントから

- ・首里城から車で約 35 分。平和祈念公園から車で約 30 分

市内の移動はデマンドバスで！（市内どこでも 300 円／1 回）

- ・市内観光は、南城市内デマンドバス「おでかけなんじい」のご利用がたいへん便利です。
- ・他の乗合い利用者との予約状況により、順番にお迎えに参ります。
- ・他の方の予約先を経由しながら目的地まで送迎します。

予約先 098-949-1235（受付時間／8:30-19:30 1 時間間隔で 1 日 13 便運行）

斎場御嶽の近くにきたら・・・

- ・車でお越しの方は、所定の駐車場（バスでお越しの方は斎場御嶽前バス停）から南城市地域物産館玄関横の斎場御嶽入場券売場にてチケットを購入してください。
- ・その後、斎場御嶽入口までは、徒歩(約500m)での移動となります。
- ・斎場御嶽の見学所要時間の目安は、移動時間も含め約 1 時間～1 時間 30 分です。

施設情報

【住 所】 斎場御嶽管理施設「緑の館・セーフア」（南城市知念字久手堅 270-1）
※斎場御嶽の入場券は「南城市地域物産館」（南城市知念字久手堅 539）で販売しています。

【電話番号】 098-949-1899（緑の館・セーフア）※問い合わせ・ガイド予約

【営業時間】 3月～10月 9時～18時（最終入場 17時 15分）
11月～2月 9時～17時30分（最終入場 16時45分）
※平成 28 年度より冬場の営業時間を変更しました。

【休 息 日】 旧暦の 5 月 1 日～3 日(3日間)と 10 月 1 日～3 日（3日間）

【利用料金】 大人 300 円（高校生以上）小人 150 円（小中学生）
団体 200 円（20 人以上）
※平成 28 年 4 月より料金を改定しました。

【ガ イ ド】 案内ガイド基本料金 2000 円（10 名様まで）
※11 名以上は 1 人追加ごとに 100 円。
※所要時間は 50 分程度。受付時間は 9 時から 16 時 00 分まで。

【所要時間】 約 1 時間～1 時間 30 分(入場券売場からの移動含む)

【駐 車 場】 あり（無料。約 150 台。南城市地域物産館と岬公園側第 2 駐車場）
※駐車場（入場券売場）から斎場御嶽入口迄は、500m（徒歩 7 分～10 分）

【バリアフリー・介助犬について】 車イス、ベビーカー等での入場はできません。
※盲導犬・聴導犬および介助犬の入場は可能です。

斎場御嶽Q & A

Q 1. 見学の所要時間はどれくらいですか？

A. 所要時間はあくまでも目安ですが、入場券売場からの移動時間を含めて約1時間～1時間30分程度です。心と時間にゆとりをもっていらしていただくことをお勧めします。

Q 2. ガイドさんはいますか？

A. 南城市観光協会が認定した文化財案内ガイドが対応可能です。基本料金は10人まで2000円、11人以上の場合は1人追加ごとに100円です。所要時間は50分程度。受付時間は9時から16時30分まで。

Q 3. 飲食する場所がありますか？

A. 南城市地域物産館や物産から斎場御嶽までの道路沿いにある飲食店をご利用ください。

Q 4. 誰でも入場できますか？

A. 沖縄の信仰に対する敬意をお持ちの方であれば宗教や国籍にかかわらず、誰でも入場できます。

Q 5. カメラを持ち込んでも大丈夫？

A. カメラの撮影は、できるだけご遠慮ください。特に、拝所を背景にした人物撮影は、神域へお尻を向けたこととなりますのでご注意ください。

Q 6. コインロッカーはありますか？

A. チケット売場の隣建物「がんじゅう駅」入口に1回300円または500円で利用できるコインロッカーがあります。

Q 7. トイレはありますか？

A. 場内にはないので、入場チケットを販売する「南城市地域物産館」、もしくは入場口手前のトイレをご利用ください。

Q 8. おすすめの時間帯は？

A. それぞれの時間帯にそれぞれの魅力がありますが、特に、晴れた日の朝がおすすめです。

Q 9. 車イス、ベビーカーで入場できますか？

A. 場内は石畳で急な斜面や階段がございますので、車イス、ベビーカー等での入場ができません。何卒ご了承ください。がんじゅう駅内「斎場御嶽展示・上映室」へは入場（無料）いただけます。